

福祉ショップ「きちさわ」紹介

ショップイベント バザー



「福祉ショップきちさわ」がオープンして半年が経ちました。出品頂いている商品は地域の方が作った農作物、手工芸品 クローバー学園、ふるさと学舎の利用者が作った農作物、手芸品、陶芸品、保護者の方が作った農園品、手芸品 それぞれコーナーを設け販売をし、購入して下さいのお客様には好評です。学園内で作った商品も様々ありますが、一番の売れ筋はロールパン、ラスクです。2月か

ら販売した食パンもかなりの反響を頂いています。ここまで店を続けてこられたのも地域の皆様方や保護者の方々、他施設の御協力によるものと思います。今後とも宜しくお申し上げますと共に、是非御来店下さい。営業時間は11時から16時まで、定休日は毎週月曜日です。



11月17日、18日
今回初めて学園バザーを「福祉ショップきちさわ」で行いました。



場所が変わり地域の方々には御足労願いましたが、たくさんの方々に御来店頂きありがとうございました。利用者、職員を代表しお礼申し上げます。



あみぐるみ 展示即売会

地域の吉田恵子さんが編みぐるみの展示即売会を開いてくださいました。

地域特産物ご案内

【石川さんの竹炭、竹酢液】



ご協力ありがとうございます
ございます



▲ショップで販売している竹炭

煙から竹酢液（ちくさくえき）が出来るんだよ」と教えてくれました。「竹酢液は、この煙が冷やされて出来るんだよ」と言い、実際に煙が外気によって冷やされ零となっているのを見学しました。竹酢液は、原液で使うと除草剤に、薄めて使うと野菜の虫除けや入浴剤としても使えてアトピーにも良いと教えてくれました。石川さんはこの他にも竹細工も出品くださっていますので、お立ち寄りの際は是非一度手にとって欲しいと思いました。

福祉ショップ「きちさわ」にある地域コーナーの中で、一番販売スペースを取り、地道に売り上げを伸ばしている、新井(あらい)にお住まいの石川さんを訪ねてみました。石川さんの作っているものは珍しい竹炭です。庭先には炭焼小屋があり、わざわざ土の中に埋めてあったドラム缶の中から焼けた竹を見せてくれました。さらにお庭を見渡してみると、何やら炭を焼く釜から長いパイプ（5m）が見え、もくもくと煙が出ていました。私は石川さんに「あれは何ですか？」と尋ねると、「この



▲庭先の炭焼釜



▲写真左が吉田さんです

編み物を提供くださっている吉田恵子さんにお話を伺いました。編み物歴は約50年。東京のヴォーグ学園で手編み講師の資格を取得し、今は公民館や手芸店で手編みを教えています。「ショップきちさわ」では隔週土曜日12:30から15:30まで無料で手編み教室を開いています。興味のある方は是非参加して下さい。尚、隔週も変化する事が有りますので、詳しい日程は吉田さんか職員にお尋ねください。

学園出品物ご案内



トマト

ハウスの中で作られた真冬でもとてもおいしいトマトとミニトマトです。



白米

今ブームでもある「おだかけ」をした天日干しのおいしいお米です。



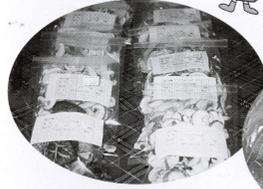
花苗

種から大切に育てた苗です。お庭に植えてきれいな花を育ててみませんか？



石けん

家庭より出された廃油を使って作った石けんです。油汚れが落ちると評判です。



しいたけ

今では少なくなった、原木による栽培で作られたおいしい「しいたけ」です。



ロールパン

手作りのロールパン。「おいしい」と評判で売りが切れることも多くなっています。



ラスク

食べるとなんだか懐かしい味がします。そして後を引き、やめられなくなります。



リース

採ってきた藤づるを巻き、そこにドライフラワーを飾った2棟の自作です。



作業班紹介



林産班



『コンコンコン』吉沢に木づちの音が響きわたります。原木にあけた1cmほどの穴に駒菌という椎茸の種を打っていきます。毎年のことなので、みんな手慣れたものです。我々林産班は、春に収穫できる秋山菌と冬に収穫できる森菌の2種類の椎茸を作っています。植菌後も、天地返し、浸水や散水など、労力と時間をかけて育てていきます。1本1本が重い楢木を枡場からハウスへ何度も往復して運んでいます。みんなとても力持ちで頼もしい限りです。今年植菌した椎茸もきっと豊作となるでしょう。

